●発行●三重県小中学校長会 津市桜橋 2-142 三重県教育文化会館内 TEL 059-227-7011 E-mail info@mie-kochokai.com ●編集●三重県小中学校長会 広報委員会 ●印刷●光出版印刷株式会社 松阪市久保町 1885-1 TEL 0598-29-1234



やわらかな関係・環境づくり

鉢やプランターの花。 楽が流れる……。 真と生徒の作成したウェルカムボード、 玄関を入ると、生徒たちの活動の写 休み時間には音

頭に記した環境もその取組の一環で、 をかけ、取組を進めたり、安心できる 徒の活動が見える掲示で満たすように 環境づくりも進めたりしています。 者の心に寄り添いながら、 りを掲げています。豊かな心、 保護者」の「柔らかな人間関係」づく 内の風景を、 校種が上がると殺風景になりがちな校 そのために、教員は子どもたちや保護 しています。 用感、信頼関係の構築がその目的です。 に「生徒と生徒、生徒と教師、教師と 本校では、学校づくりビジョンの中 授業で作成した作品等生 見守り、 自己有 声 冒

学びの一体化

としてスタートし、 子どもたちの成長を見守る取組として 学びの一体化」を進めています。本校 四日市市では、 平成十五年度から、先進研究校区 校種間の段差を緩やかなものとし、 保幼小中で連携をし 現在も一貫した取

> もたちは着実に力をつけてくれていま や生活づくり、 組を継続しています。 校区の職員が一堂に会して話し合 連携した取組を進めており、子ど キャリア教育な 基礎学力の定着

地域とのかかわり

そして、 あって、 が地域で生きる取組を進めています。 地域清掃等も行っており、 の夏祭りのお手伝いや、花火大会後の 等取組を行っています。 隣の幼稚園児とともに避難訓練を行う 災訓練に生徒が参加するとともに、 海沿いの学校である本校。 子どもたちは笑顔で生活して 地域の方々の温かな見守りも 他にも、 子どもたち 地域の防 、地域 近

子どもたちが生活できる学校づくりに 築いてきたことを引き継ぐ形で進めて いますが、これらこそ、 つながると考えます。 今後も、さらに、地域と一体となっ これらの取組は、先輩校長先生方が 安全・安心に

ていきたいと考えています。 て、子どもたちを育んでいく取組を行っ

私の学校づくり

やわらかな」学校

―安全・安心な学校づくりのために

四日市市立富洲原中学校

校長

新

田

英

生

的課題の克服に向け

「不易流行」と 「チーム学校」 Co

鈴鹿市立稲生小学校 校長 藤 行 輝



現在)、二十七学級 (含む特別支

一、今日的課題

슷 広 報

支援教育、外国人児童生徒教育等 登校、児童虐待、心の教育、特別 改革の波が迫っています。 徳の教科化」、「小学校英語」等 「アクティブ・ラーニング」、「道 向け、「社会に開かれた教育課程」 今日的課題は多岐に渡ります。 **゙**カリキュラム・マネジメント」 学力・体力の向上、いじめ、不 また、新学習指導要領の改訂に

難化が進んでいます。 巻く状況は、複雑化、多様化、 このように、学校や児童を取り 困

二、本校の概要

本校は鈴鹿市の南東部に位置 国道二十三号中勢バイパ

> の残る地域と新しい住宅地が混在 サーキットを有しています。 ス、伊勢鉄道が通り、校区に鈴鹿 百四十年を迎え、古くからの町並 しており、宅地化が進んでいます。 全校児童数七三四名(五月一日 創立

います。 二十代の教員が十三名担任をして 置されました。若手教員が多く、 校になっています。児童数の増加 援学級二)であり、市内の大規模 月に完成しました。主幹教諭も配 に伴う新校舎(七教室)がこの四

三、本校の取組の特色

ています。 対応を検討し迅速に動くことにし ます。何か事案が発生すれば管理 ます。学力保障・学習・人権教育・ 取り組む」ということを話してい もに、関係職員で情報を共有し、 職に報告・連絡・相談を行うとと を中心に定期的に部会を開いてい 会あるごとに「『チーム稲生』で 校も山積しています。職員には機 生活指導の四部会があり、各部長 前述したような今日的課題が本

四、三つのワークで

を合言葉とし、職員室の前に掲示 案された以下の「三つのワーク_ ています。 し、共通理解・共通実践に心がけ 特に、四月に生活指導部から提

・チームワーク【複数対応で適 フットワーク【すぐ行動、 ネットワーク

【ホウレンソウ 切・的確な対応を】 (報告・連絡・相談)の徹底を】 ス

多々あります。 等)事案を未然に防いだり、大事 聞き取り・家庭訪問・保護者対応 に至る前に対応できたりした例も することができます。(児童への 抱え込むことなく、チームで対応

五、「不易流行」を考えて

訓として児童の目指す姿を表して す)。そして、二番の「規律・勤勉・ な自然や地域性を見事に表してい さと」という歌詞は、稲生の豊か く丘」、三番の「八束穂実るふる を守るという「不易」と言えます。 正直の三つの教え」の歌詞は、 話になり稲作体験も行っていま ると思います。(地域の方にお世 います。地域に根ざし、よき伝統 また、本校は平成二十六年度よ 本校の校歌一番の「紫つつじ咲

> 研究も進めており、これらは「流 クター等を授業に活用したりする たり、デジタル教科書やプロジェ 校としてタブレットを児童が使っ り鈴鹿市のICT教育推進モデル 行」と言えます。

六、「チーム学校」で

ピード=誠意】 を考え、チームとして組織的に取 でき、力を伸ばし発揮できるよう り組むことが必要です。 に、今日的課題に潜む「不易流行_ 児童が安全・安心に学ぶことが

このことで、若手教員も一人で

平凡の非凡

現していく学校づくりを推進して

いきたいと考えます。

目指すところを共有し、連携・協

スクール(学校運営協議会)とも

さらに、

鈴鹿型コミュニティ・

働しながら、「チーム学校」で実

鳥羽市立加茂小学校 福 井 光



平凡の非凡とは

ŧ る。 この言葉には、二つの意味があ 積み重ねていけば非凡になる 一つは、平凡と思えることで

積み重ねていくことが、実は非凡 ということ。もう一つは、平凡を なことであるということ。

出していることである(迷路のこ 凡なことでも何か積み重ねている て…カット参照)。 とは機会があればお話しするとし つは「自作迷路」を二のつく日に ねた「校長挨拶運動」、もうひと 日を除いての毎朝、 ものがあるのか、と自問すれば二 つあった。ひとつは、出張がある 本校の校長になって六ヶ月、 登校指導を兼

挨拶…見えてきたもの

正しくできる。 ざいます」「さようなら」と礼儀 立ち止まったりして「おはようご くが、入り口から顔を出したり、 て職員室前を通る子どもたちの多 しっかりと挨拶ができる。登校し 本校の子どもたちは、基本的に

じめで与えられたことは、そつな 見えてきた。このことは、「他者 は弱い子どもたちの姿であり、ま そもそもは、内には強いが、 ているのでは」と心配しているが、 の存在を感じ取る力が弱まってき い子どもたちのもうひとつの姿が 近所の人などに、ほとんどできな している人、ゴミ出しをしている には挨拶ができても、近くを散歩 しかし、朝立つ中で、学校や私

といった面は、はなはだ心もとな 働きかけたりする力「自主・自律 くできるものの、自分から何かを い姿であった。

挨拶は車へも

とで挨拶を表現している)。 いので、声とともに頭を下げるこ 見ている。(車には声が届きにく 頭をさげている姿を子どもたちは も挨拶をしている。車一台一台に ではなく、車や自転車で通る人に 「おはようございます」と言い 私は、歩いている児童や人だけ



になるような気がする。 をもらった気になる。幸せな一日 こちらが何だかその日一日の元気 れる人も出てきた。そんな時は クラクションを鳴らしたりしてく る。なかには大きく手を振ったり らいの方が会釈等を返してくれ たりした。しかし、今は四十人く 選挙にでるのか」の声であった 立ち始めた頃は、「先生、 なんのリアクションもなかっ

ている。 手段である」と集会で話したりし 中の思いを、この世の中で一番短 隣近所、地域の方々への積極的な スになる事ばかりだと思う。PT スになる事なんて何もなく、プラ はしてもされても、お互いマイナ い」と発信したり、「挨拶は心の じて、「家庭でも家だけでなく、 Aの集まりや「学校だより」を通 。挨拶』をより進めていただきた しかも伝えやすいすばらしい

挨拶日本一の高みを目指して

じて、明朝も黄色い旗と帽子をア 平凡なことでも続けていればこ きたのは、うれしい限りである。 はいえ、そんな子どもたちも出て 本一の挨拶の学校を目指すという が挨拶について語り、なかには日 童会の選挙では、多くの立候補者 咲かせる運動を企画した。また児 コット「かもっきー」なるものを そ、非凡なものへとなることを信 公約を掲げた。まだまだ道半ばと 発案し、それに素敵な挨拶の花を イテムに道路に立とう。 すると、児童会が本校のマス



にあるのではないだろうか。挨拶

挨拶の効果は実はそんなところ

「つながり」を大切に した学校づくり 紀北町立三船中学校 校長 畑 丈 生



地区までを校区としている。 峠を南に下った馬瀬地区から船津 旧海山町内にあり、熊野古道始神 合併してできた町である。本校は 紀伊長島町と海山町の二つの町が に位置する紀北町は、十一年前に 三重県南部、 東紀州地域の北部

年生二十二名、三年生十五名、 することが予測されている。 る。十年後には二十人台まで減少 五十三名の小規模な中学校であ 地域は少子高齢化が進んでお 本校は現在一年生十六名、

ている。しかし全国学力・学習状 あり、落ち着いて学習にも集中し が見られた。 と、自信のなさや自尊感情の弱さ 況調査の生徒質問紙の結果を見る

本校の生徒は、真面目で素直で

がり合う教育活動の創造と実践. 度の研修目標を「学び合い、つな こうした生徒の実態から、

> その取組の一部を紹介したい。 生徒の育成を目指している。今回 に設定した。「つながり」を大切 情を高め、自信をもって生き抜く にしてお互いを認め合い、自尊感

一、学びをとおして

らない」と言える人間関係を築く り組んでいる。その中では、生徒 やグループ活動に重点をおいて取 もつなげていきたい。 活性化させ、さらなる学力向上に ことで、全員がつながり、授業を くり」を大切にして活動している。 が安心して発言できる「雰囲気づ 人の話をしっかりと聞き、「わか ペアやグループ活動の中では、 各教科の授業においては、ペア

いる。「いいとこ探し」や「見え 取り組んでいる。 ンセラーを活用した授業を行って る。その中で、特にスクールカウ 合う仲間づくり」に取り組んでい つながり、自尊心を高める活動に ない個性」等、他者を認め、人と 道徳教育においても「つながり

二、生徒会活動をとおして

がりを大切にした活動を行っている。

本校の生徒会は、学年を越えたつな

化祭ではオープニングで生徒会ス なり、 ンスに取り組んでいる。 体育祭では生徒会役員が中心と 全校が一つになって創作ダ また文

> 生徒一人一人が発表している。 ローガンにちなんだ自分の思いを、 こうした活動により、全校生徒の

つながりがより一層深まり、お互い 三、学校・家庭・地域の連携をとおして を認め合うことにつながっている。

見ると、落ち着いた学校の様子に 学校に対して協力的である。 や地域との連携はとても大切であ の学校開放でのアンケート結果を る。本校の保護者や地域の方は、 学校の教育活動にとって、家庭 、二学期各一回、 五日間実施

生かしていきたい。 頂いた。こうした連携を災害時に 所運営)には、町役場や地域の方、 保護者等たくさんの方に参加して 六月に実施した防災学習(避難 対して高評価を頂いている。

もに生きる学校づくりを推進して いきたいと考えている。 つながりを更に強化し、地域とと 積極的に行い、交流を図っている。 ア活動等で地域に出かける活動も このような学校・家庭・地域の また生徒会を中心にボランティ

育成に取り組んでいきたい。 会を生き抜くことのできる生徒の 互いを認め合い、自信をもって社 深め、「チーム三船」として、 るものではない。今後とも研修を こうした取組は今年だけで終わ お

全連小高知大会報:

未来創造 変革・チャレンジ・

校長中村秀久



一、はじめに

第六十八回全国連合小学校長会研究協議会高知大会が十月会研究協議会高知大会が十月会研究協議会高知大会が十月会研究の成果と課題を踏また。更に進化・発展させる大会を領して位置づけ、学校経営の責任者である校長の果たす役割と指導性を究明しようとする大会であった。

二、文部科学省講話

生実行会議から第九次提言としての中から話されたことは、教育再の講話があった。数ある説明資料の講話があった。数ある説明資料

を伸ばし可能性を開花させる教 育」を実現するために実行すべき 育課程の改善の方向性についても 育課程の改善の方向性についても 「学習指導要領改訂のポイント」 や「指導要領改訂のポイント」 でいくつかの観点から話があっ ていくつかの観点から話があっ でいくつかの観点から話があっ

三、全体会

についての主旨説明があった。 大会運営委員紹介の後、全連小本部から総会、研修会等、主な活本部から総会、研修会等、主な活生体的に関わり、共に豊かな未来主体的に関わり、共に豊かな未来主体的に関わり、共に豊かな大会運営委員紹介の後、全連小大会運営委員紹介の後、全連小

育成等の重要性が強調された。 これからの厳しい挑戦の時代を かな 課題解決を図る豊かな創造性やしなやかな知性の育成②伝統 性やしなやかな知性の育成②伝統性やしなやかな知性の育成②伝統 は、①社会の創造に挑む子供の がな未来社会の創造に挑む子供の かな未来社会の創造に挑戦の時代を

四、シンポジウム

の森澤紳勝氏、女優の白田久子氏、というテーマで、日本トリム社長「変革・チャレンジ・未来創造」



考えや願いについて熱く語り合っ勢・情熱、子どもの教育に対するの仕事に取り組む時の思いや姿の仕事の山本一力氏の三氏が、自分

五、大会宣言

た。 一切究主題と高知し決議され 大項目の決意を表明し決議され を傾注し国民の信託に応えるため 基盤に、小学校教育の推進に全力 基盤に、小学校教育の推進に全力

が長 中 西 理 分科会に参加して 熊野市立新鹿小学校 第8回全連小高知大会



分科会が行われ、第三分科会「評一日目、全体会に続き午後から

二つの報告を受けて学校評価を

京都市では、学校と家庭・地域が互いに高め合う双方向の信頼関係を築くことを目指して、学校評価は、評価することが目的で校評価は、評価することが目的ではなく、子どもたちの学校生活をよりよいものにするために行う学校改革の営みであり、教職員一人一人の気づきから生まれる日々の学校改善の集大成が評価結果とし学校改善の集大成が評価結果として表れるものである。

していきたいと思った。

そこで、校長は、学校運営のリーそこで、校長は、学校運営のリーと充実を図ることが求められてい地から、学校評価の効果的な活用地から、学校評価の効果的な活用がら、学校評価の対策の対象のであると報告された。

が阿波市から報告された。 を試行した平成二十七年度の取組実施となる「育成・評価システム」

たりして、教職員の人材、及び、情報交換をしたり進め方を検討し阿波市では、校長会総ぐるみで

う考えのもとに取り組まれた。 大事管理の基礎としての評価とい 大事管理の基礎としての評価とい 大事管理の基礎としての評価とい 大事管理の基礎としての評価とい がはる評価②学校組織の活性化に がはる評価②が表現である。 の考えのもとに取り組まれた。

しょに取り組むツールとして活用、保護者・地域が学校教育目標達成たす役割と機動性を究明していこうという協議がなされた。学校評価・人事評価を教職員・学校評価・人事評価を教職員・過して学校経営の工夫・改善、教通して学校経営の工夫・改善、教通して学校経営の工夫・改善、教



全日中宮城大会

多気町松阪市学校組合立多気中学校 校長 橋 本 弘 司

(全体会)

王日中宮城大会報告



主題「社会を生き抜く力を身に付 台の地で約二千二百名、本県から は二十五名が参加し、研究協議会 究協議会宮城大会が、「杜の都」仙 て開催された。 台サンプラザホールを主会場とし 教育 伊達な国から」を掲げ、仙 よく生き抜く! 未来を創る希望の る中学校教育」と地元テーマ「つ 第六十七回全日本中学校長会研 未来を切り拓く日本人を育て

実現させることの大切さなどを説 ころを社会と共有・連携しながら 教育を学校内に閉じずに目指すと 氏より、次期改訂学習指導要領の 方向性と教育課程の理念や、学校 大接続・初等中等教育局浅田和伸 開会式後の文部科学省説明で 文部科学省大臣官房審議官高

指導体制実現構想についての説明 明された。さらに、「次世代の学校 があった。

色ある取組」と題し、地域へ広げ 長より、「地域の学校としての特 に、和歌山県印南町立印南中学校 針・改定の概要説明があった。次 ジョンの改訂について」の基本方 直田益明氏より、「全日中教育ビ いての報告があった。 た防災活動や体験的防災学習につ 全体協議会一本目は、総務部長

くの間鳴り止まなかった。 とともに」を合唱した。両演奏が の六中学校約百六十名が、「BE つとして披露され、次に仙台市立 る故郷を決して忘れない取組の一 終わっても、会場の拍手がしばら な演奏が、石巻市立雄勝中生によ 輪太鼓「伊達の黒船太鼓」の勇壮 は、「タイヤ太鼓」の演奏と復興 LIEVE」と復興ソング「仲間 二日目冒頭アトラクションで

出させる暖かい雰囲気に包まれた が講演され、若きあのころを思い 町出身で俳優・歌手の中村雅俊氏 さとに思うこと」と題して、女川 承認された。その後、「私がふる 案した大会宣言及び決議が拍手で 全体会では、星実行委員長の提

記念講演となった。

大会であった。 の熱意と活気を感じた素晴らし に恵まれ、「復興」から「新生」。 の紹介があった。二日間とも好天 次回記念大会の開催地である東京 閉会式では、榎本大会長の挨拶



分科会に参加して 第67回全日中宮城大会

名張市立名張中学校

校長 西 Щ 嘉

指導の充実」という研究題で討議 成感のある豊かな学校生活を築く 第六分科会は「自己肯定感や達

が進められた。

学校から自校での取組の参考にし 果が示された発表であり、多くの 会の取組、不登校の未然防止とし 生徒へのきめ細やかな対応とし けた生徒への意識啓発として、グ 介された。具体的な取組方法や成 ス」の活用や中学校カウンセラー 持ち回りで作成しているいじめ防 語の取組や市内各中学校生徒会が 中高合同での討論会、健全育成標 といった各学校での取組事例、 リーンリボン運動やISSY運動 たいと質問や意見が出された。 て、地域交流合唱祭の取組等が紹 て、学校環境適応度尺度の「アセ 止新聞等の取組についての紹介、 釧路市におけるいじめ根絶に向

あり、気づかせてもらう機会に恵

今大会は、学ぶ点が非常に多く

ことであった。

れ、示唆に富む発表であったとの を通じて大変わかりやすく説明さ の解決に取り組む姿が、実践紹介 を大切にし、生徒指導上の諸問題

中学校の杉山稔校長から「関係機 という副題で報告された。 指す、校長会の組織的な指導性 関と連携して生徒指導の充実を目 次いで北海道弟子屈町立弟子屈

用について課題解決のために校長 告された。特に情報端末機器の使 会の動きや課題も踏まえながら報 究協議会での取組の紹介の後、そ れぞれの町村における実践を校長 釧路管内における釧路校長会研

り組んだ実践が紹介された。 会が町教委や関係機関と連携し取 最後に全日中担当者からのまと

最初に、北海道釧路市立音別中

等への取組」という副題で報告さ 学校におけるいじめ問題や不登校 学校の福原聡校長から「釧路市中

置かれている状況や特色などを踏

めでは、二本の提案とも、学校が

護者、行政・関係機関との連携

の学校の横のつながりや地域、保

まえ、校長会が中心となって域内

まれたことに感謝したい。





■定着してきた懇談会

だいたことで、よく理解できました。本年度は、一昨年から始 明さんとの懇談会は、一昨年から始 明さんとの懇談会は、一昨年から始 明さんとの懇談会は、一昨年から始 明さんとの懇談会は、一昨年から始 明さんとの懇談会は、一昨年から始 明さんとの懇談会は、一昨年から始 明さんとの懇談会は、一昨年から始 明さんとの後長会の役員の皆 り

具体的には、次の六項目でした。

①人事評価

②若手教員の育成

③勤務時間の縮減

⑤学力の向上

⑥北勢・南勢・紀州教育支援事

苦労をされておられる様子がよくていた頃には考えられなかったご校長先生方が、私たちが勤務し務所の活用状況

分かりました。有難うございました。本当にご苦労様です。どうかた。本当にご苦労様です。どうかで健康に十分お気を付けていただくと共に、支援事務所や退職校長会会員等を十分ご活用いただき、職務に励んでいただきまりさせていただきす。懇談時にお配りさせていただきました役員・各里事の名簿もご活用下さい。

精査し、努力します。 私どもで何とか支援できること、 本年度は、この課題について、

■三重県退職校長会の組織と活動

しております。

《組織》

施しております。

発足してから、来年で六十周年
発足してから、来年で六十周年

お届けさせていただきます。

総会は、平成二十六年度から隔を発刊しております。

ますりない。 市で開催しました。 年で地域開催し、既に紀南・四日

《活動のねらい》

でしたが、数年前から、「学校支援・ 子ども支援・地域支援」の組織と 子ども支援・地域支援」の組織と でしたが、数年前から、「学校支援・ でしたが、数年前から、「学校支援・

本年度は、県下二十一支部の理本年度は、県下二十一支部の理事で九月~十二月の教育活動及び事で九月~十二月の教育活動及び事で九月~十二月の教育活動及び事で九月~十二月の教育活動及び事で九月~十二月の教育活動及び事で九月~十二月の教育活動及び事で九月~十二月の教育活動及び事で九月~十二月の教育活動及び事で九月~十二月の教育活動及び事で九月~十二月の教育活動及び事で九月~十二月の教育を表している。

す。その節はよろしくお願いしまいただくこともあるかと思いまいただくこともあるかと思いまいがの理事が学校を訪問させて

第一号は、「学力」をテーマに早く情報発信をします。 早ないい、会員の皆さんにできるだけ行し、会員の皆さんにできるだけ

役員のみなさま・事務局には、に分けて原稿を依頼します。に分けて原稿を依頼します。員の各年齢層・男女別・地域別等

フジオ体操・筍・米作り

校長近藤みどり桑名市立多度東小学校



いの?」
「おじいちゃん、出席カードはな

「おじいちゃんには無いんだよ。」「おじいちゃんには無いんだよ。」とスイカやアイス、夏の太陽の絵が描かれた手作りの出席カードが子どもからおじいちゃんに手渡された。

動しました。」「子どもの優しさに触れとても感

夏休みのラジオ体操は、学校でで高齢の方々と、朝の体操を清々とい空気の中で一緒にしている。しい空気の中で一緒にしている。しい空気の中で一緒にしている。

事・学習活動が多くある。 力があってこそ実施できる学校行 多度東小学校は、地域の方の協

> 春には筍掘りの名人さんが、六 年生に掘るコツを教える。筍を地 年生に掘るコツを教える。筍を地 何処を掘ったら良いのか、切り 何処を掘ったら良いのか、切り で炒める。私もその香ばしい筍を もたちは体験する。収穫した筍を もたちは体験する。収穫した筍を をたちは体験する。収穫した筍を もたちは体験する。収穫した筍を もたちは体験する。収穫した筍を もたちは体験する。収穫した筍を をたちは体験する。収穫した筍を もたちは体験する。収穫した筍を もたちは体験する。収穫した筍を もたちは体験する。収穫した筍を と、筍を掘る苦労を十二分に子ど と、筍を掘る苦労を十二分に子ど と、で炒める。私もその香ばしい筍を はしかった。やはり、地元の新鮮 味しかった。やはり、地元の新鮮 はであることと、子どもたちの ははない。

五年生の体験する米作りもそう もたちに田植えの指導をし、その後の水田の管理をしてくださる。 収穫の季節には稲刈りの指導があってコンバインに乗せてもらう 体験や脱穀の指導、作業のあとには名人さんたちと「小昼(こびる)」 お茶とお菓子で和む。

子どもたちの目には見えない心でない。一子どもたちの目には見えない心で変質、意欲的に動く気持ちを地域の人が引き出してくれている。地域の大人が地域の子どもを思い、地域の子どもは地域の子どもを思い、地域の子どもは地域の子どもを別が多度に溢れていることを私は日々感じ、地域の方をいたわる。そんな温かい空気が多度に溢れていることを私はいる。子どもたちの目には見えない心です。

彼の優しさに触れて

川越町立川越中学校 金 山 昌 宏



来事でした。 学年が実施した自然教室初日の出 生徒の優しさに触れたのが、 ほっこりとさせてくれる何気ない 第一

亀山方面に向けて走り、ほどなく を終え、生徒の乗り込んだバスは テーリングを楽しみながら散策を プ別で関宿カルタなどのオリエン らの諸注意を聴いた後に、グルー たちはバスを降り、実行委員会か して関宿に到着しました。子ども お昼時にはお弁当をおいし

今でも思い出すたびに、 私を

そうに頬張っていました。 梅雨時の曇り空のもと、出発式

めながら歩いていくと、国道一号 ループとともに、関宿の街並を眺 メートルのロングウォークでし 亀山公園を目指す、道のり8キロ ころで、午後の活動は、関宿から お弁当を平らげ、力を蓄えたと 私は先頭クラスの最後尾のグ

歩道に出ました。 線沿いのガードレールで守られた

た」ということでした。 男子生徒曰く、「声掛けが間に合 も素敵な笑顔でうなずきました。 徒に「足を出したのは、おばあさ なく叫んでいました。私は男子生 は「犬のフンがあるで」と幾度と ことなく通り過ぎていきました。 性はその足を避けて、フンを踏む ると、犬のフンが…。そして、女 叫ぼうとして、その足元を見てみ るではありませんか。私が「危な を突き出して、女性の行く手を遮 転車を押して老齢の女性がこちら からだね」と問い掛けると、とて い。足なんか出したらあかん」と 女性が私たちとすれ違うその瞬間 んにフンを踏ませないようにした に向かって歩いてきました。その い起こしてみると、その男子生徒 そのとき、私たちの前方から自 女性とすれ違うまでのことを思 私の近くにいた男子生徒が足 反射的に足を出してしまっ

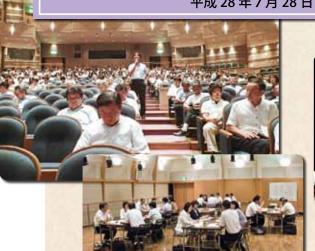
開会行事

は曇り空。しかし、息を弾ませ、 うようにダッシュ。グループに追 れをとった私と男子生徒は競い合 畑が広がる農道。グループから遅 いついたとき、二人して見上げた空 合わせた顔は快晴そのものでした。 ロングウォークの中間地点、



記念講演(久野 誠)

第 53 回三重県小学校長教育研究大会 平成 28 年 7 月 28 日 (木)



分科会グループ討議

第 53 回三重県中学校長研究大会 平成 28 年 8 月 19 日 (金)



記念講演(佐々木

一校長会だよ

員弁郡市小中学校長会

で構成しています。 校と六中学校の計二十七人の校長 郡東員町といなべ市藤原町、 員弁郡市小中学校長会は、 員弁町、大安町の二十一小学 北勢

鹿山脈をいただき、中央を流れる す。北側に多度山地、西側には鈴 桑名市と四日市市に接していま 野に囲まれています。 員弁川を挟んで緑豊かな自然と平 県と滋賀県に接し、東部と西部は 員弁郡市は、北部と西部が岐阜

外に広く知られています。 で行われる「上げ馬」神事は県内 せん。また、東員町の猪名部神社 年中登山客が絶えることがありま も鈴鹿の滝の景勝地として知られ として、また竜ヶ岳が育む宇賀渓 藤原岳は全国でも屈指の「花の山 なかでも鈴鹿国定公園内にある

を通じて、校長の指導力向上の研 の為に、年間十三回の郡市校長会 未来を切り拓く力をつける子ども を育てる先頭に立っています。そ 長会は「確かな学力」「豊かな心 「健やかな体」を育み、主体的に こうした員弁で、私たち郡市校

> 運営」「特別支援教育」「家庭·地域· 分科会「学力向上」「学校組織・ 修を積み上げています。特に、 ていると思います。 としての資質向上に大きく役立っ 異校種等連携」での議論は、校長 四

います。 部講師を招聘して学習し、 の研修視察で校長の見識を高めて また、今日的課題に対しては外 年一回

が一致団結し、これからの難題に なります。人数は減っても、校長 ので、校長は四人減り二十三人に います。 も立ち向かっていきたいと考えて 小学校五校が一校に統合されます ただ、来年度からは藤原町内の



津市中学校長会

れが地域と連携しながら、特色あ 広域に、二十一の中学校(三重大 学附属中を含む)があり、 る学校づくりに努めています。 から奈良県境の山間地域までの 津市には、 伊勢湾を臨む海岸地 それぞ

策や教育活動が進められてきまし る学校づくりの推進等、様々な施 開されます。また、美里地域にお が開始され、二十九年度から全て 現在の津市が誕生して以来、今年 との丘学園」が平成二十九年四月 編し、義務教育学校として「みさ いては、三小学校と一中学校を再 の中学校区(二十中学校区)で展 が十周年の節目にあたります。こ に開校されます。 小中一貫教育や地域とともにあ 十年の間には、各中学校区で 平成十八年に十市町村が合併し 平成二十六年度から順次実践 特に、小中一貫教育について

の報告、学校運営に関する今日的 の所管事項やそれぞれの担当から に部会を行います。中学校部会で を含む全体会の後、小中の校種別 な課題についての意見や情報交換 ています。定例会は、市教委から 学校と合同で毎月一回定例開催し 中学校長会は、五十二校ある小 さまざまな課題や各校の取り

> 行っています。お互いが気軽に相 中学校長会のつながりは心の大き 談でき、ヒントや元気をもらえる 組みについて、協議や情報交換を な支えになっています。

> > 原稿募集

います。なお、内容・字数等に 会員の皆様の投稿をお待ちして

ています。 れかに属して、今日的課題の解決 評価制度、学校経営品質)のいず 長が六つの専門委員会(教育課題 活動の場として、小中すべての校 に向けた調査・研究や研修に努め また、小中学校長会の自主的な 研究大会推進、人事、予算、

課題の解決に努め、津市の教育の りを大切にしながら、共通する諸 きます。 さらなる充実と発展を目指してい 今後も、お互いの連携やつなが



つきましては事務局へお問い合 わせ下さい。

●「校長会みえ」について、ご意見 ご要望があればお聞かせ下さい。

三重県小中学校長会

た。心よりお礼申し上げます。 ご多忙の中、素晴らしい原稿をお届け 頼させていただいた先生方には、公務 第4号を発行するにあたり、執筆を依 いただき、誠にありがとうございまし 三重県小中学校長会広報「みえ」の

載させていただきました。 会、全日中宮城大会の報告も詳しく掲 向けた地域での取組や全連小高知大 か。今号では、今日的な課題の克服に きな役割があるのではないでしょう ントを得たりと、広報「みえ」には大 いたり、研究会の報告に課題改善のヒ 先生方の思いに触れて元気をいただ に、各地域で教育課題に向き合う校長 労気味ではないでしょうか。こんな時 されている校長先生方もいささか疲 子どもたちの笑顔のため、日夜奮闘 化・複雑化しています。このような中、 子どもたちが抱える課題は、多様

です。今後とも、ご支援ご協力をよろ られる校長先生方の力になれば幸い 題に真摯に向き合い、努力を続けてお しくお願いいたします この会報が、学校が抱える様々な課